

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成22年3月11日 (2010.3.11)

【公開番号】特開2007-302669(P2007-302669A)

【公開日】平成19年11月22日 (2007.11.22)

【年通号数】公開・登録公報2007-045

【出願番号】特願2007-125126(P2007-125126)

【国際特許分類】

C 0 7 C 51/235 (2006.01)

C 0 7 C 53/126 (2006.01)

C 0 7 C 53/128 (2006.01)

C 0 7 B 61/00 (2006.01)

【F I】

C 0 7 C 51/235

C 0 7 C 53/126

C 0 7 C 53/128

C 0 7 B 61/00 3 0 0

【手続補正書】

【提出日】平成22年1月20日 (2010.1.20)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 6 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 6 4】

アルデヒド酸化反応からの反応生成物の製造（新鮮な触媒を使用）、触媒のプレホーミング：

酸化のための原料は以下の混合物よりなる：

a) 7 6 0 . 0 g のアルデヒド；

b) アルカリ金属化合物又はアルカリ土類金属化合物をカルボン酸に 1：4 のモル比で溶解することによって製造された、カルボン酸中のアルカリ金属カルボキシレート又はアルカリ土類金属カルボキシレートの均一溶液；

c) 金属含有酸（該酸も同様にそれぞれの目的生成物である）；

d) 一定量の純粋カルボン酸（同様に該酸はそれぞれの目的生成物である）；

b) 及び c) の溶液の代わりに、適当な金属化合物と直接的に混合する b) に従う溶液を使用してもよい。b) ~ d) の所で使用したカルボン酸量は原則として 4 0 . 0 g の合計量に一致する。これに関する詳細な表示は各実施例を参照。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 7 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 7 2】

イソノナン酸の製造：

原料アルデヒド G C - 分析： 1 . 5 5 % の初流成分  
9 6 . 5 5 % のイソノナナル  
1 . 3 4 % のイソノナノール  
0 . 0 7 % のイソノナン酸

## 0.49%のその他成分

a) アルデヒド酸化反応からの反応生成物の製造；新鮮な触媒（鉄／カリウムの組合せ）の使用

酸化のための原料バッチは、760.0 g のイソノナナル、0.76 mg の鉄を含有する34.9 g のイソノナン酸、並びに2.10 g のイソノナン酸カリウム、5.07 g のイソノナン酸及び0.79 g の水よりなる7.96 g の溶液の均一混合物よりなる。